



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2016. 12 月号

博物館開館時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

プラネタリウム 一般向け投影 2017年の天文現象



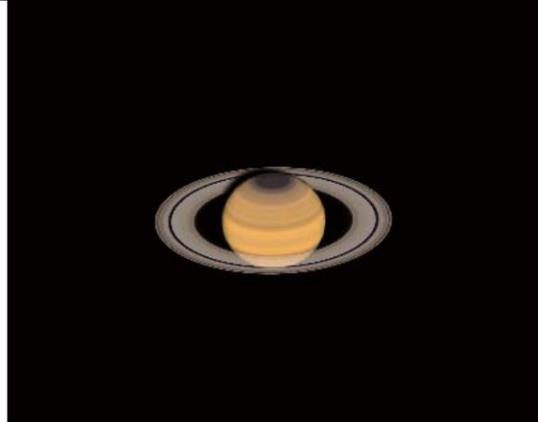
◀1998年に見られたアルデバラン食の様子

2016年から2017年にかけてアルデバラン食が何回も見られます。とはいえ条件がいいものばかりではありません。2017年に見られるアルデバラン食のうち、見やすいのは1月9日と4月1日。そのうち4月1日のアルデバラン食を番組中ではご紹介します。



2017年の土星▶

2016年に続いて2017年も土星の環が最も開いて見えます。環を見るにはうつつの時期です。



▲2011年に見られた皆既月食前の部分食の様子
8月8日の部分月食は、月の半径の約4分の1が地球の影に入ります。

平塚市博物館のプラネタリウムでは、毎年、年末年始を挟むこの時期に、「〇〇年の天文現象」と題したプラネタリウム番組を投影しています。今回はもちろん「2017年の天文現象」。プラネタリウムの強みの一つである「いつの星空でも映すことができる」能力を活かし、さらにデジタルプラネタリウムの機能をフル活用して、2017年に見られる天文現象を再現します。2017年は大きな天文現象こそないものの、見どころはたくさん！この番組をご覧になれば、2017年、どのような天文現象が見られるのか、一足早く予習をすることができますよ！

●取り上げる予定の天文現象：アルデバラン食（4/1）、部分月食（8/8）、土星、ふたご座流星群

【プラネタリウム一般向け投影「2017年の天文現象」】

- 投影日時：12/3（土）～1/8（日）の土・日曜日、および冬休み期間中の水・木曜日 午前 11 時からと午後 2 時から（各回 50 分程度）
※ただし第 2・第 4 土曜日の午前 11 時の回は幼児向け投影「ほしみる おじさん」となります。
※毎回、前半はその日に見える星空の解説を行います。
- 観覧料：200 円（18 歳未満 65 歳以上無料） 9 時より 1 階受付にて当日分の観覧券を販売
- 定員：70 人

【宮沢賢治生誕 120 年記念プラネタリウム特別投影「銀河鉄道の夜」】

KAGAYA スタジオ制作の全天周フル CG 映像番組「銀河鉄道の夜」が、宮沢賢治生誕 120 年を記念して平塚市博物館に帰ってきます。美しく再現された「銀河鉄道の夜」の世界をぜひお楽しみください！ ※星空解説はありません
 投影日時：12/3（土）、4（日）、10（土）、11（日）、24（土）、25（日）の 15 時 30 分から（各 50 分程度）
 観覧料：200 円（18 歳未満 65 歳以上無料） 9 時より 1 階受付にて当日分の観覧券を販売



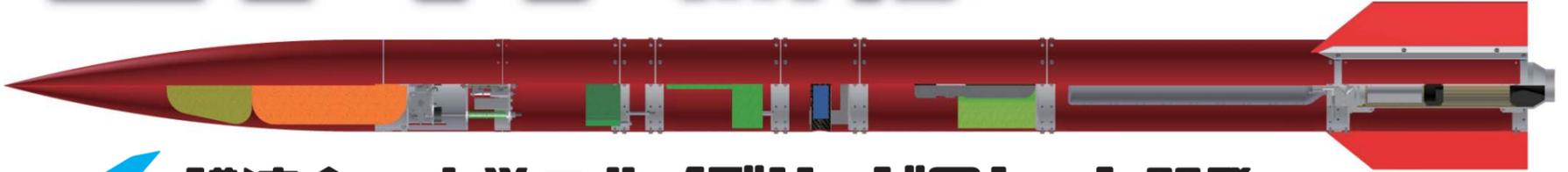
プラネタリウムの開場は 10 分前です。開演後は途中入退場ができません。

秋期特別展

知られざる平塚の ロケット開発

12/18(日)まで
開催中!

12/23(金)からは
博物館2階の情報コーナーで、ポスト特別展として
引き続き一部の展示物をご紹介します。



講演会 大学のハイブリッドロケット開発

東海大学で開発された
ハイブリッドロケット

日時：12月18日(日) 午後3時30分～5時 講師：東海大学・神奈川大学学生

場所：3階プラネタリウム室 定員：70人(先着順)

内容：各大学で開発されているハイブリッドロケットについて、詳しくご紹介いたします。



神奈川大学で開発されたハイブリッドロケット



特別展 展示解説

日時：12月10日(土) 午後1時～1時45分

解説者：藤井大地(当館学芸員) 場所：特別展示室 参加：自由

内容：今回の特別展でご紹介している様々な展示物について、解説します。

平成28年度 平塚学講座 を終えて

7月から始まった平成28年度平塚学講座が、11月12日(土)の受講生による発表をもって、ひとまず終わりを迎えました。本講座は、平塚に住む人々が地域の主役として平塚のことを知り、地域について自ら考えるためのきっかけにする、という考えのもとで例年行っている連続講座で、6回目となる今年度は34人の方が参加しました。

全10回の講義では、天文・地質・生物・考古・歴史・民俗の各分野での室内講義と、土屋地域での野外受講を行い、受講生の方にはそれをもとに平塚について知っていることや学んだことを発表してもらいました。平塚に長く住む方、越してきて間もないという方、いずれの方も独特の視点で平塚の新しい側面を見せてくれました。

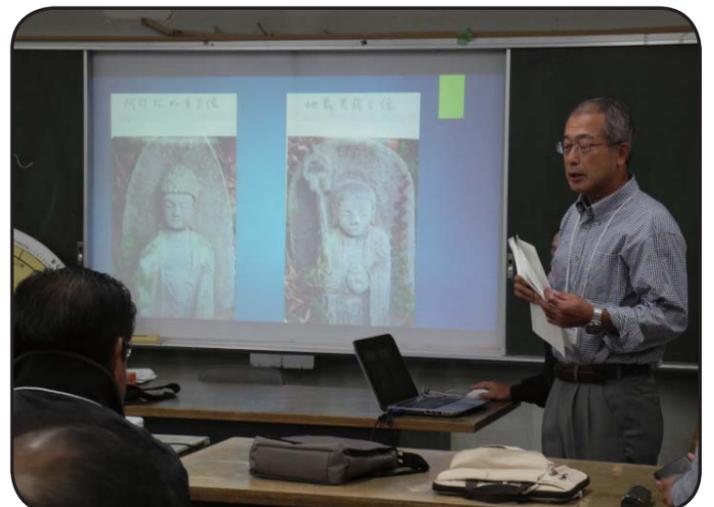
そして今年度の平塚学講座はまだ続きがあります。2017年1月に行われる博物館文化祭では、展示と発表で受講生ならではの新知見を披露していただきます。はたしてどのような展示になるのか・・・ぜひご期待ください。



民俗分野の室内講義に聞き入る受講生。



野外実習では、土屋地域を実際に歩いて、そこに残る自然や文化遺産を観察しました。



いずれも新鮮な切り口だった、受講生による研究発表。

宮沢賢治生誕 120 年記念『賢治が綴った星たち』

会期: 12月1日(木) ~ 12月25日(日)

1896年に岩手県の花巻で生まれた宮沢賢治は、日本を代表する詩人・童話作家であり、37才という短い生涯の中で、文学史に残る珠玉の作品をいくつも残しました。彼の作品には多くの星・天体が登場します。代表作の一つ『銀河鉄道の夜』はまさに天の川を舞台としていますし、『双子の星』に登場する「星めぐりの歌」は実際の星座たちを歌っています。驚くべきは、彼が当時の最新の天文学の研究成果に通じ、それを作品の中に反映させていることです。また彼独自の世界観も反映され、ただ科学的なだけではなく宇宙の姿を作品中で描いているのです。

宮沢賢治生誕120年に当たる本年、賢治の故郷・花巻市の友好都市として平塚市では「宮沢賢治生誕120年記念事業」を実施しています。平塚市博物館ではその一環として11月から宮沢賢治にまつわる展示を行ってきました。12月は『賢治が綴った星たち』と題し、宮沢賢治の作品に登場する天体を写真で紹介するとともに、それらの科学的な側面を紹介します。



子持ち銀河 M51
[NASA, Hubble Heritage Team, (STScI/AURA), ESA, S. Beckwith (STScI). Additional Processing: Robert Gendler]

全体星というものははじめぼんやりした雲のようなものだったんです……獵犬座のは渦巻きです。
(『土神と狐』より)



アクアマリン

プラネタリウム・コンサート

今年2月に「アクアマリン 時空を超えた星空の旅」と題してプラネタリウム・コンサートを行ったアクアマリンが、この冬、再び平塚市博物館に登場します。代表作「COSMOS」をはじめ、生誕120年を迎えた宮沢賢治にちなんだ曲も演奏します。

日時: 2016年12月27日(火) 午後2時/午後7時(各90分程度)

定員: 60名

申込: 往復はがき、または博物館ホームページより申込

締切は12月16日(金)。往復はがきの場合、代表者氏名、住所、電話番号、人数(1枚のはがきで3名まで)、希望する時刻(どちらか1回のみ)を記入のこと。応募多数時抽選。

観覧料: 500円(18歳未満65歳以上300円)

予定曲: 空の美術館、COSMOS、星めぐりの歌、アルビレオ、など



<アクアマリン・プロフィール>

星空や宇宙、旅や自然をテーマに歌を作っている音楽ユニット。ボーカル・Sachikoの透明感のある歌声とキーボード・ミマスが作る詞と曲で、いのちの大切さや生きることの素晴らしさについて歌っている。学校などで歌われる合唱曲の作者としても知られ、『COSMOS』『地球星歌』などのオリジナル曲は全国たくさんの小・中学校の合唱コンクールや卒業式で歌われている。

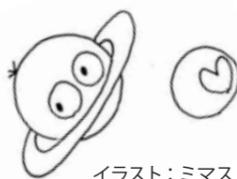


イラスト: ミマス



前回のコンサートの様子 2061年に見られるハレー彗星を題材にした曲を、再現された彗星の映像をバックに熱唱した。

Calendar table for December 2017. Columns: Day, Date, Event Name, Location, Status. Includes events like '展示解説ボランティアの会', '古文書講読会', '聞き書きの会', etc.

情報C「ミニ文化祭 古文書から読み解く秦野の歴史〜丹沢山御林・加羅古神社・たばこ」(12/12/16)
プラネタリウム一般投影「2017年の天文現象」(12/3/1/29)
「知られざる平塚のロケット開発」(10/22/12/18)

Calendar table for January 2018. Columns: Day, Date, Event Name, Location, Status. Includes events like '休館', 'ひらつか星空調査隊', '展示解説ボランティアの会', etc.

プラネタリウム一般投影「2017年の天文現象」(1/1/29)
情報コーナー「ポスト特別展「知られざる平塚のロケット開発」」
「第18回博物館文化祭」サークル活動展示・発表・実演(1/4/1/29)

☆: プラネタリウム投影日 ○: 申込制行事 ◎: 参加自由 無印: 年間会員制

秋期特別展「知られざる平塚のロケット開発」関連行事 詳細は2ページ
【プラネタリウム】定員: 70人 観覧料: 200円 (18歳未満・65歳以上無料)
☆プラネタリウム一般向け番組「2017年の天文現象」詳細は1ページ
☆プラネタリウム幼児向け番組「ほしみるおじさん」
☆宮沢賢治生誕120年記念 プラネタリウム特別投影「銀河鉄道の夜」詳細は1ページ
☆星空と音楽の夕べ 投影日時: 12月17日(土)午後4時
☆アควアマリン・プラネタリウムコンサート 詳細は3ページ
【申し込み制の行事】往復はがき(104円)に行事名・氏名・住所・電話番号を書いて博物館宛に応募
○体験学習「お飾りをつくろう」
日時: 12月18日(日)午後1時~午後4時
場所: 博物館1階 講堂 / 定員: 30人
締切: 12月9日(金)当日消印有効(申込多数の場合は抽選)。

あなたと博物館 44巻9号 通算480号 発行 平塚市博物館 2000
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
ホームページhttp://www.hirahaku.jp/

【自由参加の行事】
◎スターウォッチング入門講座・冬
日時: 12月3日(土)午後3時30分~5時
場所: 博物館1階 講堂 / 定員: 50人(先着順)
◎考古学入門講座「律令政治と相模国③」
日時: 12月17日(土)午前10時30分~12時(開場は午前10時15分)
場所: 博物館1階 講堂 / 定員: 50人(先着順)
◎天文学入門講座「太陽系と惑星」第7回「天王星・海王星と太陽系の衛星」
日時: 12月17日(土)午後3時30分~午後5時(開場は午後3時15分)
場所: 博物館1階 講堂 / 定員: 50人(先着順)
◎ろばたばなし
日時: 12月18日(日)(1)午後1時20分 (2)午後3時 / 場所: 相模の家
12月の休館日: 5日、12日、19日、26日、29日~31日

※博物館からのお願い: 博物館前の道路や駐車場が大変混雑しています。
極力、公共交通機関でご来館ください。